

産業目線

【活動選定項目】	① カーボンニュートラル(CN)への対応	
<p>具体的取り組み項目</p>	<p>① インフラ整備 ② 公用車を電動車に変更 ③ ゼロカーボンシティ宣言市（豊橋市）としての内容の充実</p>	
<p>前回まで 活動状況</p>	<p>① 現状調査：水素ステーション1軒（移動式）月・水・金 10：00～15：00 営業 EVスタンド公共 19 か所 ② 豊橋市 569 台車両保有/23 台電動化済 ③ 豊橋市 令和3年11月6日ゼロカーボンシティ宣言をしました。</p>	
<p>今回 具体的活動</p>	<p>① インフラの整備 令和4年6月現在 新たな水素ステーションを豊橋市内に建設中</p> <p>② 公用車を電動車に変更 会派：まちフォーラムで要望書を作成 令和3年10月29日 浅井市長に要望書を提出 ① ②③をの要望を盛り込みました。 令和4年6月現在、現状維持。</p> <p>③ ゼロカーボンシティ宣言市（豊橋市）としての取り組み内容充実 豊橋市の取組みとして、 環境部 環境政策課の名称を廃止 ⇒ゼロカーボンシティ推進課と変更しCO2削減に 取り組んで参ります。</p>	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p>  <p>豊橋市内に建設中の水素ステーション 令和4年中にオープン予定</p>
<p>今後の活動</p>	<p>今後も豊橋市としては、ゼロカーボンシティ宣言都市として何ができるのか、を調査・研究して提言する事が重要と考えます。 国の動向を見て動こうとする行政の対応が見られます。国・県の動きが大きく各市町に影響すると考えます。</p>	